

2019年度
No.06

ほっ TOSHIKAN

こんなときどうする？「図書館防災メソッド」

☆どのような準備が必要か家族で確認しておきましょう。

【Check！】

- 避難場所の確認（大学周辺および自宅周辺）
- 情報収集の手段や非常時に必要なアイテムの準備
- 家族との連絡方法および待ち合わせ場所の確認
- 災害用伝言ダイヤルサービスの確認
- 帰宅ルートおよび所要時間の確認
- 大学および友人等への連絡方法の確認およびリスト整備

※創価大学のウェブサイトより引用

日頃から家族や身近な人との
情報共有が大事ですね。



防災の第一の要は、日頃の備え！

普段から「今ここで災害が起きたらどうするか」と
考えてみることが、いざという時の身の安全につながります！

こんなときどうする？

図書館防災メソッド



いつ起こるかわからない地震。
本がたくさんある図書館は危険な場所になります。
そんな、いざという時のための防災術をご紹介します！

安全を確保しよう！

» 窓際や書架から離れる

窓ガラスが割れたり、本が落ちてくる危険があります。
可動式書架（中央図書館書庫2層・4層、
フレイザー図書館地下MB階）のロックは、
安全のため常にかけるようにしましょう。



» 自分の身を守る

地震の場合は机の下など安全な場所に隠れ、
頭を腕や持ち物でかばいましょう。
火災の場合は煙を吸わないように、
ハンカチなどで鼻と口を覆いましょう。



» エレベーターは使わない

揺れを感じると、エレベーターが動かなくなり危険なので、
避難する時は階段で！エレベーターに乗っているときに
地震が発生した場合は、揺れが収またらすぐに降りましょう。
ドアが開かない場合は、**非常呼出ボタン**を押し続けてください。



スタッフの指示に従い、落ち着いて避難しよう！

館内放送や、図書館スタッフの指示に従い避難します。

あわてず慎重に行動しましょう。

その後、**各図書館の指定避難場所**に集まり、安否確認を行います。



中央図書館
理工学部フレイザー図書館

→ 池田記念講堂前庭

看護学部白樺図書館

→ 創大門

法科大学院図書室

→ 本部棟前庭

図書館の安心・安全設備

図書館内には、緊急時の避難救助活動をスムーズにするための安全設備が備え付けてあります。



AED

設置場所：中央図書館 1 階カウンター横

心室細動を起こした人に取り付け、電気ショックを与えて、心臓の動きを取り戻すための救命機器。特別な知識のない人でも操作できる装置。



イーバックチェア

設置場所：中央図書館 4 階中国館前

地震や火災、停電などエレベーターが使用できない時に、要援護者やけが人など歩行困難な方を上層階から階段を利用して安全に避難させることができる車イス。



消火器

設置場所：各館各フロア

初期の火災の消火に使う、持ち運びのできる器具。



懐中電灯（非常灯）

設置場所：各館各フロア

停電などで明かりの点かないときに周囲を照らす道具。



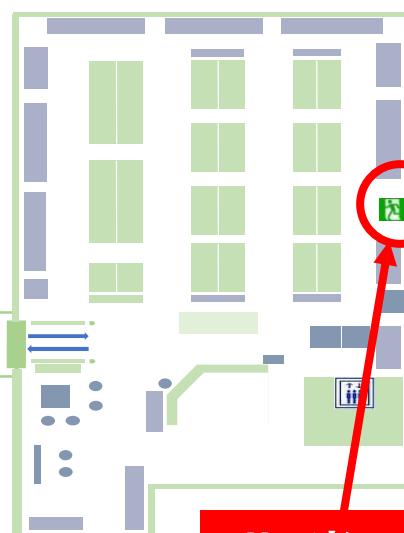
安心・安全設備一覧表

	中央図書館	理工学部 フレイザー 図書館	看護学部 白樺図書館	法科大学院 図書室
AED	1F カウンター横	(理工学部棟 1Fロビー)	(看護学棟 1Fロビー)	
イーバッグ チェア	4F 中国館前			
消火器	各フロア	各フロア	館内2箇所	館内2箇所
懐中電灯 (非常灯)	各フロア	各フロア	カウンター内	

フレイザー図書館 防災マニュアル

理工学部棟のフレイザー図書館の避難方法を
ご存じでしょうか？

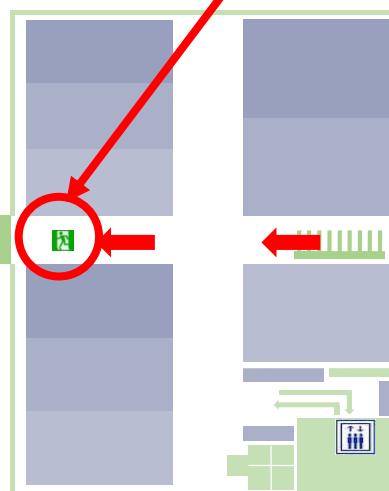
1F



B1

非常口

MB



図書館スタッフも
お声掛けしますので、
よろしくお願ひいたします。



☆万が一に備え、防災に関して意識しておきましょう。